

# 進む署名運動 疑惑の11億円土地購入

## 問われる「倫理・コンプライアンス」

「委員会での提案もなく、市民の声も聞かず」  
密かに進められた筑波ハウス社宅跡地購入、令和4年本契約へ秘密交渉  
5階建ての社宅解体費は1棟1億円？ 7棟7億円？

図書館スペース案は狭く78.5坪、あじさい館図書館300坪の1/4  
市財政ひっばく、市債311億/財政調整基金残5億弱に！（つくばハウス固定資産税600万円もなくなる）

### 市街地中央の市保有地を使わないのは何故か

発行責任者 設楽 健夫  
TEL 029-832-9620

えい えい かい こう  
**永栄偕俸**



議員の追及で明かにされた疑惑に満ちた計画。市長公約と称して密かに進められた市民無視・議会無視の複合施設計画。住民の声も聞かず委員会も開かず密かに進められていました。3月議会議案審査において議員の再三にわたる追及で、建設場所、建物平面図が明らかになりました。場所は下稲吉地区の南端外れ、図書館スペースは余りにも狭く、あじさい館図書館300坪の1/4です。

この地は神立地区住民の生活圏でもあります。土浦市との協議はしていません」との説明。審議は打ち切られ、宮島議員が市民を交えて計画の再検討を求め、「土地取得費11億円の債務負担行為削除」の動議を提案、矢口議員、佐藤議員、私の4議員が賛成しましたが他の議員は反対、否決されました。

#### 密室計画6つの疑惑

- ① 図書館施設は合併当初からの要望案件です。市民の意見も聞かず産業建設委員会での議論も提案もなく密室で、昨年からは秘密裏にすすめたのは何故か。
- ② なぜ、市街地の中央につくらないのか整備予定地が、下稲吉中学校区を中心から遠く離れており（土浦市隣接地）、多くの市民が利用する場所として不適切であるにもかかわらず、企業の社宅つくばハウス跡地に決めたのは何故か。

単に決めたのは何故か。③ 当初5000㎡の用地交渉起案書、5000㎡(1500坪)から29000㎡(8788坪)への交渉変更起案書。④ つくばハウス日立製作所用地の道路売却地は産業廃棄物の埋設が確認され処分されている事故物件地域です。調査が無いのは何故か。

⑤ 市保有地を使えば、11億円は不要。つくばハウスの固定資産税は600万円、税金が圧迫されている最中、10年間で6000万円の税金を放棄してまで交渉を進めるのは何故か。⑥ 開示された平面図の図書閲覧スペースは78.5坪。2万人の住民の施設としてはあまりにも狭く、市民の声も聞かずに決めたのは何故か。市民を交えた再検討のために、平面図の作成経過と起案書の開示を求めます。

複合交流施設平面図 アプローチ 1500㎡(454.5坪)

市民ホール 408.4㎡ 124坪	多目的スペース 41.7㎡	学習スペース 87.5㎡	図書閲覧スペース 259㎡ 78.5坪	会議室 87.5㎡	
	キッズスペース 42㎡			倉庫 42㎡	
	エントランスホール 276.5㎡				
倉庫 42㎡	ホール倉庫 84㎡	トイレ 42㎡	情報コーナー 18㎡	行政窓口 60㎡	設備機械室 66㎡

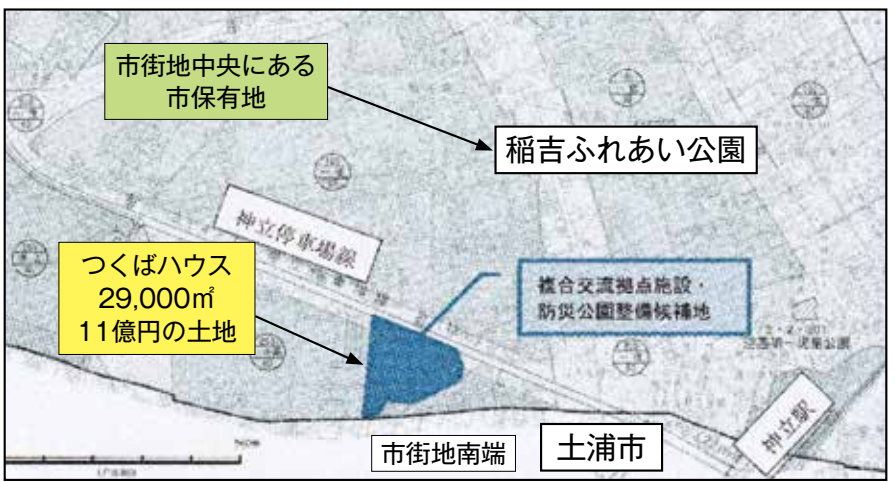
サブアプローチ  
図書閲覧スペース260㎡/78.5坪 (あじさい館図書館300坪の1/4)

### 始まった市民の方々の署名運動

文化交流センターを考える会  
代表 梅澤良正 (稲吉東3丁目) 河野恭子 (同4丁目)

#### 市長への要望書「要望趣旨」

- 市が進めようとしている複合交流拠点整備計画には大きな問題点があります。
- ① 整備予定地が、下稲吉中学校区を中心から遠く離れており（土浦市隣接地）、多くの市民が利用する場所として不適切
  - ② 市保有地（稲吉ふれあい公園など）の活用を第一に検討すべきで、コロナ禍での財政難の中、11億円もの用地購入は不要
  - ③ 2万人を超える市街地住民が利用する施設としては小さすぎるなど、施設の規模や内容に市民の声が反映されていない…などです。
- つきましては、市は現計画を一度取り下げ、市民にとって本当に必要な公共施設のあり方から、市民を交えて再検討していただくよう要望します。
- 【要望内容】  
令和3年度予算に組み込まれた複合交流拠点施設整備計画を白紙撤回し、市民を交えて計画を再検討すること



# 公正公平公明な市政運営 市民本位の財政計画の健全化へ

## 3000名の署名運動 乗合タクシーを存続させる

高齢者交通弱者の移動手段であるデマンド型乗合タクシーについて、市は今年度廃止方針を転換し4月以降の存続を決定しました。3年前、乗合タクシーの廃止が決定され、「交通空白地帯」の方々  
が3000名を超える署名運動を展開、議会では趣旨採択となり、市民団体は繰り返し要望活動を続けて来ました。昨年アンケート調査が行われるに至り、乗合タクシー存続の声が多く寄せられ、存続決定に至りました。利用料金は

一乗車600円。障害者や介添え者・小学生は半額300円です。

## 高齢者割引を復活させましょう！

あろうことか高齢者割引はありません。高齢者の通院や買い物にタクシーやバスの公共交通は不可欠です。以前あった常磐線をまたぐ利用、土浦協同病院や神立病院への直接乗り入れがあれば、神立ラインバスは必要なくなりません。一便2名に満たない神立ラインの年間経費1400万円は高齢者の乗合タクシー割引に使うことができます。

## 3000名の署名運動 保育士助成制度を実現する ひとり月額1万5000円

令和2年市内保育士さんへの経済的支援を求める請願が出され、賛成は4人の議員だけ、署名は3000名を超え、署名をしなかった方が市への要望を新たに提出し、本年度予算に、ひとり月額1万5000円の補助制度が盛り込まれました。今後の継続が課題です。

## 夏の給食ができるようになります

昨年の夏、コロナ禍で県内で唯一3000人の児童生徒が夏季給食を受けられなくなり、4議員が給食実施の緊急要望書を提出、アンケートが行われ、500名が仕出し弁当を求め実施されました。給食室改善の要望が出され調理室、配膳室の冷房、スポットクーラーや冷房チヨッキ等、作業環境改善策が予算に盛り込まれました。

## ひっ迫財政 市債（借金）と基金（積立）の状況

[予算資料から]単位千円	令和3年度	令和2年度末	対前年増減
市税（コロナ禍減収）	5,308,625	5,605,712	△297,087
<b>市債（借金）は311億6200万円!</b>			
一般会計市債	20,590,131	19,403,082	1,187,049
水道事業債	3,689,878	3,566,326	123,552
下水道事業債	5,037,958	5,401,491	△363,533
農業集落排水事業債	1,844,337	2,050,208	△205,871
<b>市債現在高合計</b>	<b>31,162,305</b>	<b>30,421,106</b>	<b>741,199</b>

## 基金 激減する財政調整基金、年度末には5億円弱に!

基金（積立）の名称	令和3年度末	令和2年度末	対前年増減
財政調整基金（財源貯金）	490,061	949,758	△459,697
減債基金（市債返済財源）	1,992,444	2,289,442	△296,998
特定基金（使途が決まっている）			
地域づくり基金	598,168	800,939	△202,771
地域福祉基金	107,140	107,089	51
霞ヶ浦水質浄化対策基金	29,399	37,073	△7,674
公共施設等整備基金	279,267	266,715	12,552
地域振興基金	838,341	836,511	1,830
森林環境譲与税基金	9,420	7,113	2,307
土地開発基金	83,120	83,120	0
国民健康保険支払準備基金	236,275	226,587	9,688
高額療養費貸付基金	9,704	9,703	1
介護給付費等準備基金	187,539	283,062	△95,523
一般旅券発給事務証紙等購買基金	3,065	3,064	1
<b>基金合計（千円）</b>	<b>4,863,953</b>	<b>5,900,176</b>	<b>△1,036,223</b>

**新型コロナウイルスワクチン接種始まる。** 集団接種（ウエルネスプラザ）65歳以上の高齢者は、1日180人接種週3日540人接種。月2160人接種、3か月で6480人が接種。医療の個別接種で同数接種予定。高齢者の接種予約、パソコン・スマートフォンでの予約は声をかけ合い、出来る人が予約を援助しましょう。

**危機的な財政事情**  
事業のための事業を止め、市民参加型の健全な財政運営への転換が求められています。

本年度予算で更に4億6千万円を予算財源に繰り出している。左表参照）  
財政調整基金は本年度末残額4億9千万円となり、来年度予算組入が続けば財政調整基金は無くなり

本年度市債（借金）は311億円。元金償還（返済）は19億円。減債（返済）基金は本年度末19億9千万円に減ります。

11億円の複合交流施設用地購入は白紙に戻し、市保有地を活用した図書館文化交流センターの建設へ、市民を交えて計画を再検討すること求められています。市民本位の財政計画の健全化は待たず。

**財政調整基金**  
年度間の財源不足に備えるための貯金

**減債基金**  
市債（借金）の償還（返済）財源

**待ち望む  
霞ヶ浦地区の課題**

- ・常磐線跨線橋建設
- ・天神工業団地の整備
- ・湖岸周回道路の整備
- ・田村沖宿延伸道路（出島水道路）の早期着工
- ・霞ヶ浦北岸で整備されている自転車道と自動車道の並行道路の整備
- ・湖岸まわり小型路線バスあじさい号の復活、路線バスの屋根つき停留所の設置
- ・霞ヶ浦地区閉校小学校体育館の耐震、水道管・電気接続工事
- ・下大津、志土庫小学校の公民館施設整備
- ・南小学校放課後児童クラブの狭い低い保育所教室の改善、旧保健センター等の活用。等々